

青少年専門員だより

80号

令和7年10月1日



“いじめ・非行をなくそう” やまがた県民運動
令和7年度 置賜地区
「いじめ防止」標語

置賜地区

◆参加校 64校
小学校 46校
中学校 18校
(米沢養護学校を含む)

最優秀

「いじめ防止」標語

南陽市立宮内小学校 四年 小原 縁さん

パスまわし 言葉も気持ちも つなげよう

いじめ・非行をなくそう やまがた県民運動

置賜地区青少年育成連絡協議会

優秀

なりたいたい みんなにやさしく できるぼく

米沢市立東部小学校 1年 横山 向琉さん

違う色 輝く個性 虹となる

飯豊町立飯豊中学校 3年 小谷部 蒼空さん

入選

認め合おう 相手と私の相違点

高畠町立高畠中学校 3年 木村 空琉実さん

きずつけない みんなだれかの たからもの

川西町立吉島小学校 1年 小形 日茉璃さん

大切な みんなの心と 自分の心

長井市立西根小学校 6年 塩田 昂矢さん

受け入れよう 自分も相手も 大切に

小国町立叶水中学校 1年 須貝 溪大さん

きみのふつう おしつけないで くつうだよ

白鷹町立東根小学校 3年 新野 蒼真さん

今年度も「いじめ防止」標語の募集を行ったところ、多くの小・中学校及び特別支援学校の児童・生徒の皆さんより作品が寄せられました。各市町による審査を経て提出された作品について、置賜地区審査会において厳正なる審査を行いました。

最優秀標語に選ばれた 小原 縁さん（宮内小学校）は、10月26日に鶴岡市で開催される山形県青少年健全育成県民大会で表彰される予定です。

本事業にご理解とご協力を賜りました各学校とご家庭及び関係各位に心から感謝申し上げます。

第2回 置賜地区青少年育成連絡協議会 研修会



9月17日（水）置賜総合支庁講堂にて、第2回置賜地区青少年育成連絡協議会が開催されました。研修会では、「若者の就労支援の現状と課題」と題して、株式会社ラ・ヴェリタ代表取締役 中澤 謙一氏よりご講演いただきました。講演の中で、国の施策や会社経営の難しさを交えながら、今なぜ若者の就労継続支援が重要なのかについて詳しく説明していただきました。

ラ・ヴェリタでは、通所者が目標を持ち、自分の変容を自覚することができるように、「モデルを真似する」「試行錯誤の経験」「努力の仕方を学ぶ」「成功体験を積む」ことを大切にしているとのことでした。

あきらめかけている人の能力を引き出すとともに、意識の変容を促し、適切な支援を行うことで「人は変わる」という事例に感銘を受けました。達成への道筋を示し、通所者とともに歩む姿勢は、青少年健全育成に携わる者にとって大変参考となる考え方であり、学びの多い研修会となりました。

令和7年度麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動

麻薬、覚醒剤、大麻、危険ドラッグ等の薬物乱用は、乱用者個人の健康上の問題にとどまらず、各種の犯罪の誘因など公共の福祉に計り知れない危害をもたらします。薬物乱用による危害を広く国民に周知し、国民一人一人の認識を高めることにより、麻薬・覚醒剤・大麻等の薬物乱用の根絶を図ることを目的に、令和7年10月1日から11月30日までを重点期間として様々な啓発活動が行われます。国内では最近「笑気麻酔」と称する、国内未承認の医薬品成分「エトミデート」が含まれる危険ドラッグが乱用される事例が確認されています。危険ドラッグは、「買わない、使わない、関わらない」よう注意喚起を促しましょう。

毎月第3日曜日は「家庭の日」

10
月

「家族で健康づくりをはじめる」

・家族一緒にスポーツや
レクリエーションを
楽しみましょう。



11
月

「働くことの大切さを学ぶ」

・家族の仕事について
家庭で語り合い
しましょう。



上段が月別推進テーマ、下段が行動実践事例です。

家族そろって笑顔で過ごす時間をつくりましょう